



電話システム連動の管理

電話システム、ポート グループ、ポート、電話システム トランク、サーバを追加および削除することによって、電話システム連動を管理できます。また、既存の電話システム、ポート グループ、ポート、電話システム トランク、サーバの設定を変更することもできます。

この章は、次の項で構成されています。

- [電話システムの管理 \(P.20-2\)](#)
- [ポート グループの管理 \(P.20-9\)](#)
- [ポートの管理 \(P.20-21\)](#)
- [電話システム トランクの管理 \(P.20-25\)](#)

電話システムの管理

Cisco Unity Connection Administration の電話システムのページには、Cisco Unity Connection と連動している電話システムが示されています。Connection Administration では、電話システムは 1 つ以上のポートグループを保持しています。ポートグループは、ボイスメッセージポートを保持しています。電話システムを管理することで、システムでのニーズの変化に対応できます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [新しい電話システム連動の追加 \(P.20-2\)](#)
- [電話システム連動の削除 \(P.20-3\)](#)
- [電話システムの設定の変更 \(P.20-3\)](#)
- [Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存 \(P.20-4\)](#)
- [電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示 \(P.20-5\)](#)
- [電話システムの MWI の同期化 \(P.20-5\)](#)
- [通話ループ検出設定の変更 \(P.20-6\)](#)
- [AXL サーバの追加 \(P.20-6\)](#)
- [AXL サーバの削除 \(P.20-7\)](#)
- [AXL サーバの設定の変更 \(P.20-8\)](#)

新しい電話システム連動の追加

複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させることができます。サポートされる組み合わせについては、『*Multiple Integration Guide for Cisco Unity Connection 1.2*』を参照してください。このドキュメントは、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

新しい電話システム連動を追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Phone System]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Phone Systems]** ページの **[Phone System Search Results]** で、**[Add New]** をクリックします。**[Phone System Integration Wizard]** が表示されます。
 - ステップ 3** 画面の指示に従います。入力する設定については、適切な Cisco Unity Connection インテグレーションガイドを参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。
 - ステップ 4** Connection を再起動するように求められたら、Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
 - ステップ 5** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-

電話システム連動の削除

電話システムが Cisco Unity Connection で使用されなくなった場合は、その電話システムを削除できません。電話システムを削除する前に、次のエンティティを削除するか、別の電話システムに割り当てる必要があります。

- 削除する電話システムに関連付けられている、すべてのユーザ (MWI デバイスと通知デバイスを含む)
- 削除する電話システムに関連付けられている、すべてのユーザ テンプレート
- 削除する電話システムに関連付けられている、すべてのシステム コールハンドラ
- 削除する電話システムに関連付けられている、すべてのコールハンドラ テンプレート



(注)

電話システムに関連付けられているすべてのユーザのリストは、[Phone System Associations] ページで参照することができます。詳細については、P.20-5 の「電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示」を参照してください。

電話システム連動を削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Phone Systems] ページの [Phone System Search Results] で、削除する電話システムの名前の隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [Delete Selected] をクリックします。
- ステップ 4** ポート グループを削除するかどうか確認を求められたら、[OK] をクリックします。

電話システムの設定の変更

電話システムを Cisco Unity Connection と連動させた後に、電話システムの設定を変更することができます。電話システムの設定では、Connection と連動させる電話システムを指定し、特定の電話システム機能を調整します (連動のコンフィギュレーション設定は、電話システムに属しているポート グループに保持されます)。

電話システムの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、設定を変更する電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Phone System Basics] ページで、必要な設定を変更して [Save] をクリックします。

Cisco Unity Connection ルート証明書を表示

ルート証明書は、Cisco CallManager 4.1 以降との連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証に必要になります。ルート証明書を表示すると、認証と暗号化に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

Cisco Unity Connection ルート証明書を表示する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、Cisco CallManager 電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basics] ページで、[Edit] メニューの [Root Certificate] をクリックします。
 - ステップ 4** [View Root Certificate] ページに、ルート証明書に含まれている情報が表示されます。
-

Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存

ルート証明書は、Cisco CallManager 4.1 以降との連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証に必要になります。

Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、Cisco CallManager 電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basics] ページで、[Edit] メニューの [Root Certificate] をクリックします。
 - ステップ 4** [View Root Certificate] ページで、[Right-Click to Save the Certificate as a File] リンクを右クリックし、[Save Target As] をクリックします。
 - ステップ 5** [Save As] ダイアログボックスで、Connection ルート証明書をファイルとして保存する場所になる Cisco Unity Connection サーバ上の位置を参照します。
 - ステップ 6** [File Name] フィールドで、拡張子が .htm ではなく .0 になっていることを確認し、[Save] をクリックします。



注意

証明書をファイルとして保存する場合は、拡張子を .htm ではなく .0 にする必要があります。これ以外の拡張子にした場合、Cisco CallManager は証明書を認識しません。

- ステップ 7** [Download Complete] ダイアログボックスで、[Close] をクリックします。

これで、Connection ルート証明書ファイルをこの Cisco CallManager 電話システム連動のすべての Cisco CallManager サーバにコピーできる状態になりました。手順については、適切な Cisco CallManager インテグレーションガイドを参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

電話システムに関連付けられているユーザのリストの表示

電話システムに関連付けられている、すべての Cisco Unity Connection ユーザのリストを表示することができます。この情報は、電話システムにユーザが関連付けられているかどうかを確認するときに便利です。

電話システムに関連付けられているユーザのリストを表示する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basics] ページで、[Edit] メニューの [Phone System Associations] をクリックします。
 - ステップ 4** [Phone System Associations] ページに、電話システムに関連付けられているユーザのリストが表示されます。
-

電話システムの MWI の同期化

他の電話システムの MWI に影響を及ぼすことなく、電話システムのすべてのメッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) を同期化することができます。

電話システムの MWI を同期化する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basics] ページで、[Synchronize All MWIs on This Phone System] の前にある [Run] をクリックします。
-

通話ループ検出設定の変更

ユーザにメッセージの到着を通知するなどの目的で Cisco Unity Connection が転送した通話が、Connection に転送し直されることがあります。通話ループ検出を有効にすると、Connection は通話ループの発生を検出し、その通話を拒否します。

通話ループ検出設定を変更すると、確認される通話をタイプごとに有効または無効にし、Connection が使用する [fourth-column DTMF トーン] を設定し、ガード時間を設定することができます。

通話ループ検出設定は、Connection が転送する通話への影響が不明な場合は変更しないでください。

通話ループ検出設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basics] ページの [Call Loop Detection Settings (Advanced)] で、適切な設定を入力し、[Save] をクリックします。
-

AXL サーバの追加

AXL サーバは、Cisco CallManager 電話システムでのみサポートされます。このサーバは、Cisco CallManager ユーザをインポートするため、および Connection パーソナル着信転送ルールユーザの特定の電話設定を変更するために、Cisco Unity Connection が Cisco CallManager データベースにアクセスする場合に必要になります。



(注) AXL サーバは、Cisco CallManager Express 連動ではサポートされません。

AXL サーバを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、Cisco CallManager 電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basic] ページで、[Edit] メニューの [Cisco CallManager AXL Servers] をクリックします。
 - ステップ 4** [Edit AXL Servers] ページの [AXL Servers] で、[Add New] をクリックします。
 - ステップ 5** AXL サーバの設定を入力し、[Save] をクリックします。
 - ステップ 6** 追加する残りすべての AXL サーバについて、ステップ 4 とステップ 5 を繰り返します。

- ステップ 7** [AXL Server Settings] の下にあるフィールドが空白の場合は、適切な設定を入力し、[Save] をクリックします。

**注意**

このページで変更した内容を保存した後に、AXL サーバ ポート番号の隣にある [Test] をクリックすると、AXL サーバへの接続を確認できます。入力した AXL ポートと [Cisco CallManager Version] の設定が、SSL を使用するかどうかに関して競合している場合、テストの結果が表示されるまでに 10 分以上かかります。

AXL サーバの削除

AXL サーバは、Cisco CallManager 電話システムでのみサポートされます。このサーバは、Cisco CallManager ユーザをインポートするため、および Connection パーソナル着信転送ルール ユーザの特定の電話設定を変更するために、Cisco Unity Connection が Cisco CallManager データベースにアクセスする場合に必要になります。

AXL サーバを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Phone System] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、Cisco CallManager 電話システムの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Phone System Basic] ページで、[Edit] メニューの [Cisco CallManager AXL Servers] をクリックします。
- ステップ 4** [Edit AXL Servers] ページの [AXL Servers] で、削除する AXL サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [Delete Selected] をクリックします。
- ステップ 6** AXL サーバを削除するかどうか確認を求められたら、[OK] をクリックします。

AXL サーバの設定の変更

AXL サーバは、Cisco CallManager 電話システムでのみサポートされます。このサーバは、Cisco CallManager ユーザをインポートするため、および Connection パーソナル着信転送ルールユーザの特定の電話設定を変更するために、Cisco Unity Connection が Cisco CallManager データベースにアクセスする場合に必要になります。

AXL サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Phone System]** をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Phone Systems] ページで、Cisco CallManager 電話システムの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Phone System Basic] ページで、[Edit] メニューの **[Cisco CallManager AXL Servers]** をクリックします。
 - ステップ 4** [Edit AXL Servers] ページで、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
-

ポート グループの管理

ポート グループは、連動のほとんどのコンフィギュレーション設定、および Cisco Unity Connection の一部またはすべてのボイス メッセージ ポート を保持しています。ほとんどの電話システム連動では 1 つのポート グループしか必要ありませんが、次の場合は複数のポート グループが必要になることがあります。

- PIMG ユニットを経由した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG ユニットを、8 つまでのボイス メッセージ ポートを持つそれぞれ別のポート グループに接続します。たとえば、PIMG ユニットを 5 台使用するシステムでは 5 つのポート グループが必要です。PIMG ユニットごとにポート グループを 1 つ使用します。
- Cisco CallManager との連動では、新しい設定のテストやトラブルシューティングのために、専用のボイス メッセージ ポートを持つ追加のポート グループを使用する場合があります。

Connection のポート グループを利用すると、複数の連動コンフィギュレーション設定を用意して、それぞれ別のポート グループに適用できる柔軟性がもたらされます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [ポート グループの追加 \(P.20-9\)](#)
- [ポート グループの削除 \(P.20-10\)](#)
- [ポート グループの設定の変更 \(P.20-10\)](#)
- [Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式の変更 \(P.20-11\)](#)
- [MWI の設定の変更 \(P.20-12\)](#)
- [セカンダリ Cisco CallManager サーバの追加 \(P.20-12\)](#)
- [Cisco CallManager サーバの削除 \(P.20-13\)](#)
- [Cisco CallManager サーバの設定の変更 \(P.20-14\)](#)
- [TFTP サーバの追加 \(P.20-14\)](#)
- [TFTP サーバの削除 \(P.20-15\)](#)
- [TFTP サーバの設定の変更 \(P.20-15\)](#)
- [SIP プロキシ サーバの追加 \(P.20-16\)](#)
- [SIP プロキシ サーバの削除 \(P.20-17\)](#)
- [SIP プロキシ サーバの設定の変更 \(P.20-17\)](#)
- [PIMG ユニットの追加 \(P.20-18\)](#)
- [PIMG ユニットの削除 \(P.20-18\)](#)
- [PIMG の設定の変更 \(P.20-19\)](#)
- [セッション開始プロトコル \(SIP\) の設定の変更 \(P.20-19\)](#)
- [ポート グループの詳細設定の変更 \(P.20-20\)](#)
- [自動ゲイン制御 \(AGC\) の設定の変更 \(P.20-20\)](#)

ポート グループの追加

複数のポート グループを追加することで、それぞれに固有の連動コンフィギュレーション設定と専用のボイス メッセージ ポート を定義できます。

PIMG ユニットを経由した回線交換電話システムとの連動では、PIMG ユニットごとにポート グループが 1 つ必要です。たとえば、PIMG ユニットを 5 台使用するシステムでは 5 つのポート グループが必要です。PIMG ユニットごとにポート グループを 1 つ使用します。

ポートグループを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページの [Port Group Search Results] で、**[Add New]** をクリックします。
 - ステップ 3** [New Port Group] ページで、必要な設定を入力して **[Save]** をクリックします。
-

ポートグループの削除

ポートグループを削除すると、そのポートグループに属しているボイスメッセージポートもすべて削除されますが、ポートグループが属している電話システムは削除されません。

ポートグループを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページの [Port Group Search Results] で、削除するポートグループの名前の隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** **[Delete Selected]** をクリックします。
 - ステップ 4** ポートグループを削除するかどうか確認を求められたら、**[OK]** をクリックします。
-

ポートグループの設定の変更

ポートグループを追加した後に、ポートグループの設定を変更することができます。設定に対する変更が適用されるのは、そのポートグループに属しているボイスメッセージポートのみです。

ポートグループの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
 - ステップ 4** Connection を再起動するように求められたら、Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
 - ステップ 5** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-

Cisco Unity Connection が通話に使用するオーディオ形式の変更

Cisco Unity Connection は、電話システムとのメディアストリームで優先的に使用する、通話のオーディオ形式（コーデック）をアドバタイズします。オーディオ形式を設定するときは、次の点を考慮する必要があります。

- システムで Connection 音声認識機能を使用する場合は、Connection が電話システムとのメディアストリームに G.711 μ 法オーディオ形式を使用する必要があります。
- Connection では、電話システムが使用しているものと同じオーディオ形式をメディアストリームに使用する必要があります。その理由は次のとおりです。
 - メディアストリームを、あるオーディオ形式から別の形式に変換する必要が生じるのを避けるため。
 - Connection サーバおよび電話システムのパフォーマンスに及ぼす影響を最小限に抑えるため。
 - 通話の音質を維持するため。
- 電話システムが使用しているものとは別のオーディオ形式を Connection がアドバタイズすると、電話システムはメディアストリームを変換します。

Connection が通話に使用するオーディオ形式を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port Group] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、メディアストリームのオーディオ形式を変更する電話システム連動に属しているポートグループをクリックします。
- ステップ 3** [Port Group Basics] ページの [Codec Preferences] で、適切な設定（表 20-1）をクリックします。

表 20-1 オーディオ形式を選択するための設定

設定	動作
[Advertise G.711 Mu-Law]	Connection は、メディアストリームを G.711 μ 法オーディオ形式で送信します。電話システムがこのオーディオ形式を使用していない場合、電話システムはメディアストリームを変換します。
[Advertise G.729a]	Connection は、メディアストリームを G.729a オーディオ形式で送信します。電話システムがこのオーディオ形式を使用していない場合、電話システムはメディアストリームを変換します。
[Advertise Both, G.711 Mu-Law Preferred] (PIMG と SIP 連動のみ)	Connection は、G.711 μ 法オーディオ形式を優先使用することをアドバタイズしますが、電話システムが決定したオーディオ形式でメディアストリームを送信します。
[Advertise Both, G.729 Preferred] (PIMG と SIP 連動のみ)	Connection は、G.729a オーディオ形式を優先使用することをアドバタイズしますが、電話システムが決定したオーディオ形式でメディアストリームを送信します。
[Advertise Both] (Cisco CallManager 連動のみ)	Connection は、Cisco CallManager が使用しているオーディオ形式でメディアストリームを送信します。

- ステップ 4** (PIMG と SIP 連動のみ) コーデックが使用するパケットサイズを変更する場合は、適切な設定をクリックします。

- ステップ 5** [Save] をクリックします。
- ステップ 6** [Port Group] メニューの [Search Port Groups] をクリックします。
- ステップ 7** メディア ストリームのオーディオ形式を変更する電話システム連動に属している残りすべてのポートグループについて、[ステップ 2](#)～[ステップ 6](#) を繰り返します。
- ステップ 8** Windows タスクバーの [Cisco Unity Connection] アイコンを右クリックし、[Restart] > [Voice Processing Server Role] をクリックします。
- ステップ 9** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、[Yes] をクリックします。
-

MWI の設定の変更

メッセージ ウェイティング インジケータ (MWI) について、Cisco Unity Connection がユーザの MWI を設定するかどうか、および MWI 要求の再試行をどのように処理するかを制御します。

MWI の設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port Group] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、MWI の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Port Group Basics] ページの [Message Waiting Indicator Settings] で、必要な設定を変更して [Save] をクリックします。
- ステップ 4** Cisco Unity Connection を再起動するように求められたら、Windows タスクバーの [Cisco Unity Connection] アイコンを右クリックし、[Restart] > [Voice Processing Server Role] をクリックします。
- ステップ 5** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、[Yes] をクリックします。
-

セカンダリ Cisco CallManager サーバの追加

Cisco CallManager 連動で、Phone System Integration Wizard によって作成されるのはパブリッシャ Cisco CallManager サーバとの連動のみです。クラスタ内のセカンダリ Cisco CallManager サーバは、連動を作成した後に追加する必要があります。

セカンダリ Cisco CallManager サーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port Group] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、セカンダリ Cisco CallManager サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。

- ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。
- ステップ 4** [Edit Servers] ページの [Cisco CallManager Servers] で、**[Add]** をクリックします。
- ステップ 5** セカンダリ Cisco CallManager サーバの設定を入力し、**[Save]** をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべてのセカンダリ Cisco CallManager サーバについて、**ステップ 4** と **ステップ 5** を繰り返します。
- ステップ 7** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
- ステップ 8** Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。



(注) **[Ping]** をクリックすると、Cisco CallManager サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

Cisco CallManager サーバの削除

Cisco CallManager サーバが電話システム連動で使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

Cisco CallManager サーバを別のポートグループに移動する場合は、Cisco CallManager サーバを最初のポートグループから削除して、2 番目のポートグループに追加する必要があります。

Cisco CallManager サーバを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
- ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、Cisco CallManager サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。
- ステップ 4** [Edit Servers] ページの [Cisco CallManager Servers] で、削除する Cisco CallManager サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** **[Delete Selected]** をクリックします。
- ステップ 6** Cisco CallManager サーバを削除するかどうか確認を求められたら、**[OK]** をクリックします。
- ステップ 7** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
- ステップ 8** Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。

Cisco CallManager サーバの設定の変更

Cisco CallManager サーバを追加した後に、サーバの設定を変更することができます。

Cisco CallManager サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** > **[Port Group]** ページを展開します。
 - ステップ 2** **[Search Port Groups]** ページで、Cisco CallManager サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** **[Port Group Basics]** ページで、**[Edit]** メニューの **[Servers]** をクリックします。
 - ステップ 4** **[Edit Servers]** ページの **[Cisco CallManager Servers]** で、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
 - ステップ 5** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart]** > **[Voice Processing Server Role]** をクリックします。
 - ステップ 6** Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-



(注) **[Ping]** をクリックすると、Cisco CallManager サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

TFTP サーバの追加

Cisco CallManager 連動では、Cisco CallManager クラスタで Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

システムで Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合は、Cisco CallManager 電話システム連動を作成した後に、TFTP サーバを追加する必要があります。

TFTP サーバを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Port Groups]** ページで、TFTP サーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** **[Port Group Basics]** ページで、**[Edit]** メニューの **[Servers]** をクリックします。
 - ステップ 4** **[Edit Servers]** ページの **[TFTP Servers]** で、**[Add]** をクリックします。
 - ステップ 5** TFTP サーバの設定を入力し、**[Save]** をクリックします。
 - ステップ 6** 追加する残りすべての TFTP サーバについて、**ステップ 4** と **ステップ 5** を繰り返します。

ステップ 7 Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。

ステップ 8 Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。



(注) **[Ping]** をクリックすると、TFTP サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

TFTP サーバの削除

TFTP サーバがポートグループで使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

Cisco CallManager 連動では、Cisco CallManager クラスタで Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

TFTP サーバを削除する

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。

ステップ 2 [Search Port Groups] ページで、TFTP サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。

ステップ 3 [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。

ステップ 4 [Edit Servers] ページの [TFTP Servers] で、削除する TFTP サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 5 **[Delete Selected]** をクリックします。

ステップ 6 TFTP サーバを削除するかどうか確認を求められたら、**[OK]** をクリックします。

ステップ 7 Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。

ステップ 8 Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。

TFTP サーバの設定の変更

TFTP サーバを追加した後に、サーバの設定を変更することができます。

Cisco CallManager 連動では、Cisco CallManager クラスタで Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの認証と暗号化を使用する場合に限り、TFTP サーバが必要になります。

TFTP サーバの設定を変更する

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。

- ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、TFTP サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。
- ステップ 4** [Edit Servers] ページの [TFTP Servers] で、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
- ステップ 5** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
- ステップ 6** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。



(注) **[Ping]** をクリックすると、TFTP サーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

SIP プロキシサーバの追加

SIP トランクを使用した Cisco CallManager との電話システム連動、または Cisco SIP プロキシサーバとの電話システム連動では、電話システムを作成した後に別の SIP プロキシサーバを追加できます。

SIP プロキシサーバを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
- ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、SIP プロキシサーバを追加するポートグループの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。
- ステップ 4** [Edit Servers] ページで、**[Add]** をクリックします。
- ステップ 5** SIP プロキシサーバの設定を入力し、**[Save]** をクリックします。
- ステップ 6** 追加する残りすべての SIP プロキシサーバについて、**ステップ 4** と **ステップ 5** を繰り返します。
- ステップ 7** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
- ステップ 8** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。



(注) **[Ping]** をクリックすると、SIP プロキシサーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

SIP プロキシ サーバの削除

SIP トランクを使用した Cisco CallManager との電話システム連動、または Cisco SIP プロキシ サーバとの電話システム連動で、ポートグループで SIP プロキシ サーバが使用されなくなった場合は、そのサーバを削除できます。

SIP プロキシ サーバを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、SIP プロキシ サーバを削除するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。
 - ステップ 4** [Edit Servers] ページの [SIP Proxy Servers] で、削除する SIP プロキシ サーバの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** **[Delete Selected]** をクリックします。
 - ステップ 6** SIP プロキシ サーバを削除するかどうか確認を求められたら、**[OK]** をクリックします。
 - ステップ 7** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
 - ステップ 8** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-

SIP プロキシ サーバの設定の変更

SIP トランクを経由した Cisco CallManager との電話システム連動、または Cisco SIP プロキシ サーバとの電話システム連動では、SIP プロキシ サーバを追加した後にサーバの設定を変更できます。

SIP プロキシ サーバの設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、SIP プロキシ サーバの設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの **[Servers]** をクリックします。
 - ステップ 4** [Edit Servers] ページで、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
 - ステップ 5** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。

ステップ 6 Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。



(注) **[Ping]** をクリックすると、SIP プロキシサーバの IP アドレス（またはホスト名）を確認できます。

PIMG ユニットの追加

PIMG ユニットを経由した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG ユニットをそれぞれ固有のポートグループに配置します。たとえば、PIMG ユニットを 5 台使用するシステムでは 5 つのポートグループが必要です。PIMG ユニットごとにポートグループを 1 つ使用します。PIMG ユニットは、電話システム連動を作成した後に追加できます。

PIMG ユニットを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
- ステップ 2** **[Search Port Groups]** ページの **[Port Group Search Results]** で、**[Add New]** をクリックします。
- ステップ 3** **[New Port Group]** ページの **[Phone System]** フィールドで、PIMG ユニットを追加する電話システムをクリックします。
- ステップ 4** 適切な設定を入力し、**[Save]** をクリックします。
-

PIMG ユニットの削除

PIMG ユニットを経由した回線交換電話システムとの連動では、各 PIMG ユニットをそれぞれ固有のポートグループに配置します。たとえば、PIMG ユニットを 5 台使用するシステムでは 5 つのポートグループが必要です。PIMG ユニットごとにポートグループを 1 つ使用します。PIMG ユニットは、電話システム連動を作成した後に削除できます。

PIMG ユニットを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
- ステップ 2** **[Search Port Groups]** ページの **[Port Group Search Results]** で、削除する PIMG ユニットのポートグループの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** **[Delete Selected]** をクリックします。
-

PIMG の設定の変更

PIMG ユニットを経由した回線交換電話システムとの連動では、電話システム連動を作成した後に PIMG の設定を変更できます。

PIMG ユニットを経由した回線交換電話システムとの連動では、PIMG ユニットごとにポートグループが 1 つ必要です。たとえば、PIMG ユニットを 5 台使用するシステムでは 5 つのポートグループが必要です。PIMG ユニットごとにポートグループを 1 つ使用します。

PIMG の設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Port Groups]** ページで、PIMG の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** **[Port Group Basics]** ページの **[PIMG Settings]** で、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
 - ステップ 4** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
 - ステップ 5** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-

セッション開始プロトコル (SIP) の設定の変更

次の電話システムとの連動では、電話システム連動を作成した後に、セッション開始プロトコル (SIP) の設定を変更できます。

- SIP トランクを経由した Cisco CallManager
- PIMG ユニットを経由した回線交換電話システム
- Cisco SIP プロキシサーバ

セッション開始プロトコル (SIP) の設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port Group]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Port Groups]** ページで、SIP の設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** **[Port Group Basics]** ページの **[Session Initiation Protocol (SIP) Settings]** で、必要な設定を変更して **[Save]** をクリックします。
 - ステップ 4** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
 - ステップ 5** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-

ポートグループの詳細設定の変更

ポートグループの詳細設定では、特定の遅延時間を制御します。ポートグループの詳細設定は、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。

ポートグループの詳細設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port Group] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、詳細設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの [Advanced Settings] をクリックします。
 - ステップ 4** [Edit Advanced Settings] ページの [Port Group Advanced Settings] で、必要な設定を変更して [Save] をクリックします。
 - ステップ 5** Cisco Unity Connection を再起動するように求められたら、Windows タスクバーの [Cisco Unity Connection] アイコンを右クリックし、[Restart] > [Voice Processing Server Role] をクリックします。
 - ステップ 6** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、[Yes] をクリックします。
-

自動ゲイン制御 (AGC) の設定の変更

自動ゲイン制御 (AGC) の設定では、メッセージ録音時の値の自動調整を制御します。AGC の設定は、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。

AGC の設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port Group] をクリックします。
 - ステップ 2** [Search Port Groups] ページで、詳細設定を変更するポートグループの表示名をクリックします。
 - ステップ 3** [Port Group Basics] ページで、[Edit] メニューの [Advanced Settings] をクリックします。
 - ステップ 4** [Edit Advanced Settings] ページの [Automatic Gain Control (AGC) Settings] で、必要な設定を変更して [Save] をクリックします。
 - ステップ 5** Cisco Unity Connection を再起動するように求められたら、Windows タスクバーの [Cisco Unity Connection] アイコンを右クリックし、[Restart] > [Voice Processing Server Role] をクリックします。
 - ステップ 6** Voice Processing サーバロールを停止するかどうか確認を求められたら、[Yes] をクリックします。
-

ポートの管理

ボイス メッセージ ポートを利用すると、Cisco Unity Connection で通話を（メッセージ録音などのために）着信したり、Connection で通話を（通知メッセージの送信や MWI の設定などのために）発信したりすることができます。

各ボイス メッセージ ポートは、1つのポート グループにのみ所属できます。ポート グループが複数ある場合、各グループはそれぞれ固有のボイス メッセージ ポートを保持します。すべてのポート グループに属しているボイス メッセージ ポートの合計数は、Connection ライセンス ファイルで有効とされているボイス メッセージ ポートの最大数を超えることはできません。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [ポートの追加 \(P.20-21\)](#)
- [ポートの削除 \(P.20-22\)](#)
- [ポートの設定の変更 \(P.20-22\)](#)
- [ポートのデバイス証明書の表示 \(P.20-24\)](#)

ポートの追加

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間で通話のための接続を提供します。ボイス メッセージ ポートは、電話システムを作成した後に追加できます。ボイス メッセージ ポートを追加したことによって、すべてのポート グループのボイス メッセージ ポートの合計数が、Connection ライセンス ファイルで有効とされているボイス メッセージ ポートの最大数を超えることがないようにする必要があります。

新しいポートを追加する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port]** をクリックします。
- ステップ 2** **[Search Ports]** ページの **[Port Search Results]** で、**[Add New]** をクリックします。
- ステップ 3** **[New Ports]** ページで、必要な設定を入力して **[Save]** をクリックします。



注意

通話への応答用に設定したポートと発信用に設定したポートの数が適切であることを確認します。ポートの数が適切でない場合、連動が正常に機能しない可能性があります。適切な Cisco Unity Connection インテグレーション ガイドの「**Planning How the Voice Messaging Ports Will Be Used by Cisco Unity Connection**」の項を参照してください。このドキュメントは、
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html から入手可能です。

- ステップ 4** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
- ステップ 5** Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。

- ステップ 6** Cisco Unity Connection Administration の [Related Links] ドロップダウンリストで、[Check Telephony Configuration] をクリックし、[GO] をクリックして電話システム連動の設定を確認します。

テストが正常に終了しなかった場合は、トラブルシューティングの手順を示したメッセージが [Task Execution Results] リストに 1 つ以上表示されます。問題を解決した後に、もう一度設定を確認してください。

ポートの削除

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。

ポートを削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Ports] ページの [Port Search Results] で、削除するボイス メッセージ ポートの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [Delete Selected] をクリックします。
- ステップ 4** 必要に応じて、ポート グループに含まれている残りのボイス メッセージ ポートの設定を変更します。通話への応答用のポートと発信用のポートを、それぞれ適切な数に設定します。
- ステップ 5** Windows タスクバーの [Cisco Unity Connection] アイコンを右クリックし、[Restart] > [Voice Processing Server Role] をクリックします。
- ステップ 6** Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、[Yes] をクリックします。

ポートの設定の変更

ボイス メッセージ ポートは、Cisco Unity Connection と電話システムの間に通話のための接続を提供します。ボイス メッセージ ポートの設定は、電話システム連動を作成した後に変更できます。

ポートの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Telephony Integrations] を展開し、[Port] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Ports] ページで、設定を変更するボイス メッセージ ポートの表示名をクリックします。
- ステップ 3** [Port Basics] ページで、必要な設定を入力して [Save] をクリックします。

電話システム連動の種類に応じて、次の表の一部またはすべてのフィールドが表示されます。

表 20-2 [Port Basics] ページの設定

フィールド	説明
[Enabled]	このチェックボックスをオンにすると、ポートが有効になります。通常のコピーではポートを有効にします。 このチェックボックスをオフにすると、ポートが無効になります。ポートが無効になると、そのポートに対する通話は、呼び出し音を受けますが、応答されることはありません。一般的には、インストール担当者がテスト中に限りポートを無効にします。
[Extension]	電話システムで割り当てられているように、ポートに対する内線番号を入力します。
[Answer Calls]	通話に応答するようにポートを指定するには、このチェックボックスをオンにします。これらの通話は、身元不明発信者またはユーザからの着信です。
[Perform Message Notification]	ポートをユーザに対するメッセージ通知用に指定するには、このチェックボックスをオンにします。[Perform Message Notification] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[Send MWI Requests]	ポートを MWI のオン / オフ用に指定するには、このチェックボックスをオンにします。[Send MWI Requests] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[Allow TRAP Connections]	このチェックボックスをオンにすると、ユーザは CiscoCisco Unity Connection の Web アプリケーションで電話から録音または再生用のポートを使用することができます。[Allow TRAP Connections] には、最も使用率の低いポートを割り当てます。
[Outgoing Hunt Order]	CiscoCisco Unity Connection が発信時に使用するポート ([Perform Message Notification]、[Send MWI Requests]、および [Allow TRAP Connections] の各チェックボックスをオンにした場合など) の優先順位を入力します。値の最も大きいポートが最初に使用されます。ただし、複数のポートが同じ [Outgoing Hunt Order] 値になっている場合、CiscoCisco Unity Connection は最も長時間アイドル状態になっているポートを使用します。
[Security Mode]	該当するセキュリティモードをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> • [Non-secure] : コールシグナリングメッセージがクリア (暗号化されていない) テキストとして送信され、認証された TLS ポートではなく非認証ポートを使用して Cisco CallManager に接続されるため、コールシグナリングメッセージの完全性とプライバシーは保証されません。また、メディアストリームも暗号化されません。 • [Authenticated] : コールシグナリングメッセージは認証された TLS ポートを使用して Cisco CallManager に接続されるため、完全性が保証されます。ただし、クリア (暗号化されていない) テキストで送信されるため、コールシグナリングメッセージのプライバシーは保証されません。また、メディアストリームも暗号化されません。 • [Encrypted] : コールシグナリングメッセージは認証された TLS ポートを使用して Cisco CallManager に接続され、暗号化されるため、このポートでの完全性とプライバシーが保証されます。また、メディアストリームも暗号化されます。

ステップ 4 設定を変更するボイス メッセージ ポートがこれ以上ない場合は、[ステップ 6](#) に進みます。まだある場合は、**[Next]** をクリックします。

ステップ 5 設定を変更する残りすべてのボイス メッセージ ポートについて、[ステップ 3](#) と [ステップ 4](#) を繰り返します。

ステップ 6 [Port] メニューの **[Search Ports]** をクリックします。

ステップ 7 [Search Ports] ページで、通話への応答用に設定したボイス メッセージ ポートと発信用に設定したボイス メッセージ ポートの数が適切であることを確認します。必要に応じて、通話への応答用に設定したボイス メッセージ ポートと発信用に設定したボイス メッセージ ポートの数を調整します。

- ステップ 8** Windows タスクバーの **[Cisco Unity Connection]** アイコンを右クリックし、**[Restart] > [Voice Processing Server Role]** をクリックします。
- ステップ 9** Voice Processing サーバ ロールを停止するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
-

ポートのデバイス証明書を表示

ボイス メッセージ ポートのデバイス証明書は、Cisco CallManager 4.1 以降との連動でのみ使用され、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートの認証に必要になります。ポートのデバイス証明書を表示すると、認証と暗号化に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

ポートのデバイス証明書を表示する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Port]** をクリックします。
- ステップ 2** **[Search Ports]** ページで、デバイス証明書を表示するボイス メッセージ ポートの表示名をクリックします。
- ステップ 3** **[Port Basics]** ページで、**[View Certificate]** をクリックします。
- ステップ 4** **[View Port Certificate]** ウィンドウに、ポートのデバイス証明書に含まれている情報が表示されます。
-

電話システム トランクの管理

複数の電話システムが Cisco Unity Connection と連動している場合は、電話システム トランクを設定して、電話システム上の通話を別の電話システム上の内線番号に転送できるようにすることをお勧めします。電話システム トランクには、内線番号をダイヤルする前に追加ダイヤル番号をダイヤルする（たとえば、9 をダイヤルする）ことでアクセスできます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [電話システム トランクの追加 \(P.20-25\)](#)
- [電話システム トランクの削除 \(P.20-25\)](#)
- [電話システム トランクの設定の変更 \(P.20-26\)](#)

電話システム トランクの追加

別の電話システム連動が存在する場合は、電話システム トランクを追加することで、ある電話システム上の通話から、他の電話システム上の内線番号にアクセスできるようになります。電話システム トランクは、電話システム連動を作成した後に追加できます。

電話システム トランクを追加する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Trunk]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Phone System Trunks]** ページの **[Phone System Trunk Search Results]** で、**[Add New]** をクリックします。
 - ステップ 3** **[New Phone System Trunk]** ページで、必要な設定を入力して **[Save]** をクリックします。
-

電話システム トランクの削除

電話システム トランクが電話システム連動で使用されなくなった場合は、そのトランクを削除できます。

電話システム トランクを削除する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Trunk]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Phone System Trunks]** ページの **[Phone System Trunk Search Results]** で、削除する電話システム トランクの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** **[Delete Selected]** をクリックします。
 - ステップ 4** 電話システム トランクを削除するかどうか確認を求められたら、**[OK]** をクリックします。
-

電話システム トランクの設定の変更

電話システム トランクの設定は変更できません。ただし、変更の必要な電話システム トランクを削除して、必要な設定で新しい電話システム トランクを追加することができます。

電話システム トランクの設定を変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、**[Telephony Integrations]** を展開し、**[Trunk]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Search Phone System Trunks]** ページで、削除する電話システム トランクの隣にあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** **[Delete Selected]** をクリックします。
 - ステップ 4** 電話システム トランクを削除するかどうか確認を求められたら、**[OK]** をクリックします。
 - ステップ 5** **[Add New]** をクリックします。
 - ステップ 6** **[New Phone System Trunk]** ページで、必要な設定を入力して **[Save]** をクリックします。
-